



どなたでも
参加できます

参加費

無料

特定非営利活動法人 「くすり・たべもの・からだの協議会」主催第38回講演会

講演1 高齢者の多剤服用によるリスクとその見える化



山田 静雄先生 (静岡県立大学特任教授、大学院薬食研究推進センター長)

1975年英国ノッティンガム大学医学部およびロンドン大学薬学部留学。1976年静岡薬科大学大学院薬学研究科博士課程修了(薬学博士)。1978年米国アリゾナ大学医学部博士研究員。1991年静岡県立大学助教授。1994年カリフォルニア大学(UCLA)医学部客員研究員。2004年静岡県立大学教授(2011-2013年理事兼副学長兼務)。2013年第20回日本排泄機能学会会長。2014年静岡県立大学特任教授。2022年スタンフォード大学公表の世界のトップ2%科学者に選出。2023年第27回日本統合医療学会学術大会大会長。生活習慣病など複数の疾患を併発している患者において、多剤併用による有害事象は患者の生活の質を大きく低下させる。本講演では、多剤服用患者における有害事象の回避や減薬のために役立つ薬剤リスクの見える化などについてお話し、医薬品の適正使用について理解を深めていただきたい。

講演2 患者・市民の価値観から考える 診療ガイドラインの活用



小島原典子先生 (静岡社会健康医学大学院大学 疫学領域 教授)

昭和63年東京女子医科大学卒業。平成7年東京女子医科大学博士(医学)。昭和63年東京女子医科大学病院消化器病センター内科を経て、ハワイ大学公衆衛生大学院、ハーバード大学公衆衛生大学院に留学し、東京女子医科大学衛生学公衆衛生学第二講座にて産業医学・疫学・科学的根拠に基づく医療(EBM)を研究。令和3年から現職。病気の治療を選ぶために診療ガイドラインを見たり、使ったりしたことはありますか。診療ガイドラインの推奨はどのように作られているのか、日常診療にどのように使うことができるのか、Mindsガイドラインセンターで診療ガイドラインの作成支援に携わっている演者がわかりやすく解説します。参加者の皆さんがご自身の価値観に合った治療を選ぶ共同意思決定(shared decision making: SDM)の理解を深めていきましょう。

日時

2026年6月13日(土) 13:30~15:30

開催方法・会場

オンラインと

会場講演方式で開催

■現地講演とZOOM配信

■会場:江崎ホール(葵区七間町8-20毎日江崎ビル9階)

- ZOOMオンラインで希望の方は、メールにてお申込みください。
- 江崎ホールで参加ご希望の方は、直接会場にお越しください。発熱などの症状がある方は来場をお控えください。

主催/特定非営利活動法人「くすり・たべもの・からだの協議会」 <http://ktk-shizuoka.or.jp>

お申し込み・お問い合わせ/静岡県立大学大学院薬食研究推進センター

メールアドレス:cpfr01@u-shizuoka-ken.ac.jp 電話:054-264-5625 ファックス:054-264-5626